

令和8年第2回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和8年3月11日（水） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

(1) 2番 工藤文明君

(2) 4番 鹿兒島 巖 君

(3) 8番 秋元英俊君

令和8年3月10日招集

第2回小坂町議会（定例会）

発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	2	工藤文明	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 令和7年度の雪対策について</p> <p>2. 地域おこし協力隊の今後について</p> <p>3. 縮小する地域の医療体制への対応について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>秋田県北部地域は、昨シーズンに続いて今シーズンも大雪に見舞われました。町は最上位の警戒体制である「災害対策本部」を令和8年2月3日に設置し、同日、県は災害救助法の適用まで決定したわけですが、今シーズンの大雪に対して町がとった雪対策の具体的な内容について伺います。</p> <p>また、昨年2月定例会において、鹿角市花輪の気象観測地点で積雪深が70cmを超えた場合、町の雪対策の初動として「災害連絡室」を設置すべきであると提案しましたが、その際、町長から「検討したい」との返答を受けておりました。その検討結果について併せて伺います。</p> <p>令和8年4月採用予定として、地域おこし協力隊の募集がおこなわれました。今回は「小坂リビングクリエイター」「小坂鉄道特命駅員」「文化財調査・活用促進員」「小坂七滝ワイナリー事業の促進」と募集内容が明示されておりましたが、その応募状況と採用の見込みについて伺います。</p> <p>一方では、令和6年度に採用された地域おこし協力隊2名のうち2名とも、令和7年度に採用された協力隊2名のうち1名が、任期途中で退任しています。地域おこし協力隊の活動目的を考えたとき、過去2年間は役割が十分に果たせなかったと言えます。今後も地域おこし協力隊に活躍していただくため、町としての対応策を伺います。</p> <p>人口減少が続く中、鹿角地域の中核病院である「かづの厚生病院」の診療体制が縮小しています。</p> <p>令和7年8月にJA秋田厚生連から示された病院運営の将来像は、①鹿角市小坂町が赤字を補填しての現状運営、②鹿角市が指定管理者となつての病院運営、③鹿角市直営による病院運営であり、この三つの選択肢から市と町が回答を求められているわけですが、このことは多額の財政負担を伴うものであるため、より多くの町民と今後の地域医療体制の課題を共有すべきものと考えます。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	2	工藤文明	一般質問	町長
(発言の要旨)		<p data-bbox="587 398 778 434">(発言の内容)</p> <p data-bbox="587 443 1398 651">現在、鹿角市がおこなっている「地域医療ビジョン」の策定は、一つの参考となり得ます。町も同様に「小坂町医療ビジョン」を策定し、地域医療についての方向性を町民とともに描いた上で、「かづの厚生病院」の運営方針を決定してはいかがでしょうか、お考えを伺います。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
2	4	鹿兒島 巖	一 般 質 問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 冬期の豪雪対策にかかわって</p> <p>2. 住み続けられるまちづくりにかかわる住宅政策にかかわって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>この冬は例年に無い豪雪に見舞われ、暮らしや生業などに大きな脅威と被害が生じたが、昨今の気候変動の状況を考えると今後も頻発することが考えられるところである。</p> <p>しかし少子高齢化、特に高齢化が進む状況下ではこれまでの冬期間対策では暮らしが成り立たなくなると危惧せざるを得ない。</p> <p>(1) 除雪体制の見直しと強化が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 高齢化宅の間口除雪の強化、屋根等の除雪体制への取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 降雪による倒木被害が多発しているが、降雪期前に対策が必要と考えるがどうか。</p> <p>1. 町は第6次総合計画・後期基本計画(案)で、「中央地区福祉エリア整備構想」を示しているが、その中で「サンホーム大石平」の移転を支援するとともに、移転と並行して、中央地区に高齢者住宅を整備するとしており、是非とも実現していただきたいと考えているが、想定する高齢者住宅とはどういった住宅か。計画の進捗状況はどうか。</p> <p>2. 町は以前から夜間人口を大きく上回る昼間人口を有しており、その要因は、町外へ働きに出る町民より町外から町内の企業などに働きに来る人数が大幅に上回っていることによるといわれているが、人口減少に歯止めをかける施策として、これら勤労者世代を対象にした住宅建設を行い、町内への移住を誘発する施策が有効と考えるがどうか。</p>		

